

えが お

〔発行〕 会長 榎本 房雄
〔編集〕 広報部

〒337-0053
さいたま市見沼区大和田町1-1387-1
電話・FAX 048-687-7935
http://oosatohigashi.sakura.ne.jp

避難場所はどこ…

今さいたま市では、災害時の避難場所として学校を中心とした公共施設252か所を指定しています。

そのうち55か所の公民館は高齢者や障害者といった災害時援護者優先の避難場所としています。

大砂土東地区の

文 ▶ 避難場所 (収容できる施設)

- 見沼小学校 ○ 島小学校 ○ 大砂土東小学校
- 大砂土中学校 ○ 大宮商業高校

遊 ▶ 一時避難場所 (公園等で一時的に避難する場所)

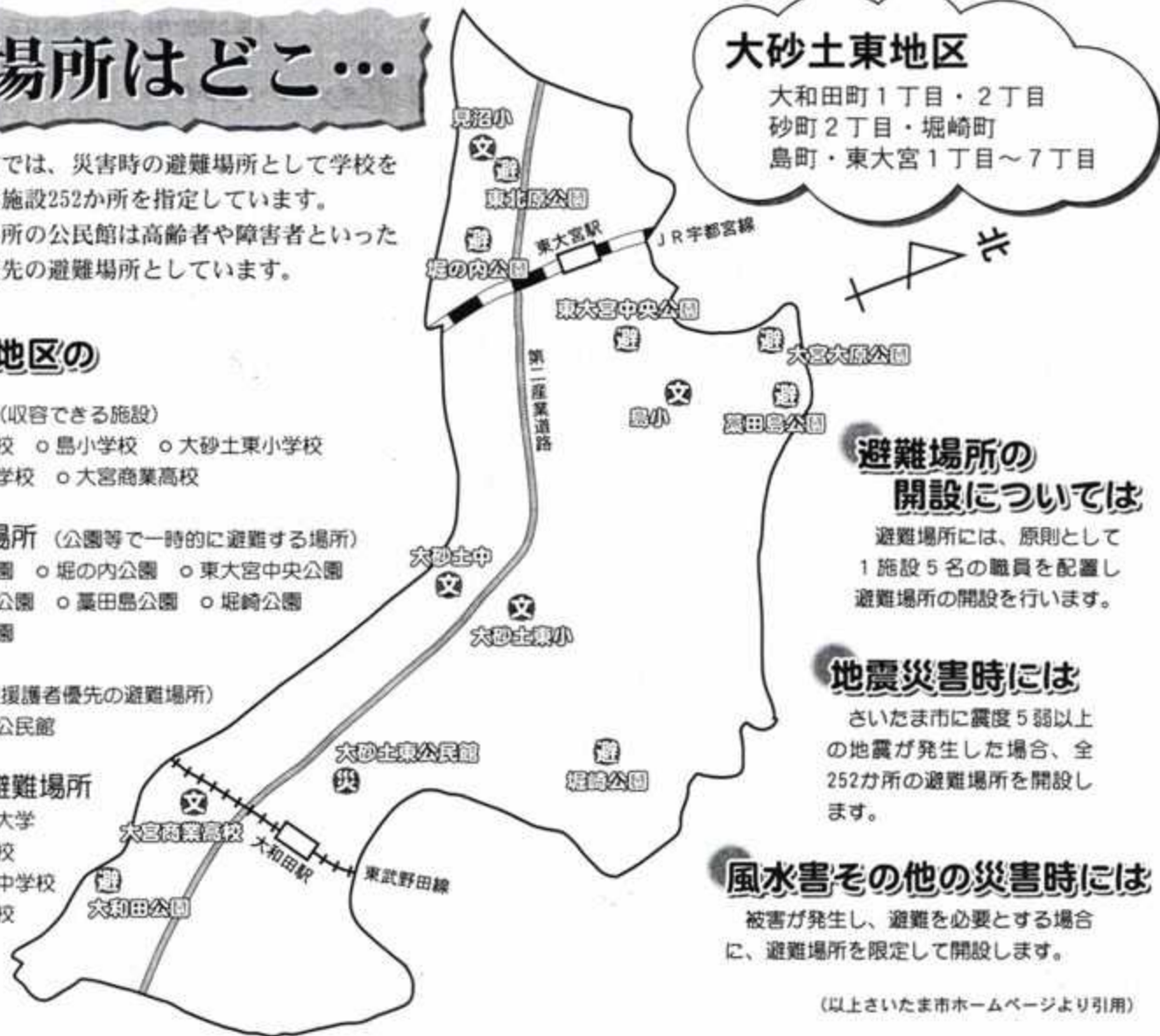
- 東北原公園 ○ 堀の内公園 ○ 東大宮中央公園
- 大宮大原公園 ○ 藁田島公園 ○ 堀崎公園
- 大和田公園

災 ▶ 公民館 (要援護者優先の避難場所)

- 大砂土東公民館

▶ 近隣地区避難場所

- 芝浦工業大学
- 蓮沼小学校
- 大宮八幡中学校
- 春里中学校



大砂土東地区

大和田町1丁目・2丁目
砂町2丁目・堀崎町
島町・東大宮1丁目～7丁目

避難場所の開設については

避難場所には、原則として1施設5名の職員を配置し、避難場所の開設を行います。

地震災害時には

さいたま市に震度5弱以上の地震が発生した場合、全252か所の避難場所を開設します。

風水害その他の災害時には

被害が発生し、避難を必要とする場合に、避難場所を限定して開設します。

(以上さいたま市ホームページより引用)

地域福祉見守りネットワークとは

私たちは、昔から近所の人たちのお世話になったり助けたり、人と人とのつながりの中で生活してきました。しかし昨今は地域社会や家族の在り方が、大きく変わり、地域で暮らす人々の人間関係が希薄になってきています。

そして家族の崩壊、そのため孤独高齢者や、高齢者のみの世帯が増えてきています。このようなことから老老介護に疲れた末の悲劇や、単身高齢者故に病に倒れ人知れず亡くなってしまったこともありましよう。また子供の虐待や苛め、このようなことを未然に防ぐために、隣り近所お互いに声をかけ合い人と人が強い絆で結ばれた地域社会を目指すことが求められております。

このためには、地域住民が手と手をつないだ見守りネットワークづくりが必要でしょう。

この見守りとは、誰か誰を見守るというのではなく、近所隣お互いが日常的にさりげない見守りを心がけましようということなのです。

近所の○○さんこのところみかけないけれどどうしたかな

○ 向いの家のポストに新聞がたまっている

○ 雨戸がしまったまま

○ 大声で争う声が・子供の泣き声が異常だ

もしこのような異変に気付いた時は、まずお近くの民生児童委員に通報なり連絡をしましょう。お近くの民生児童委員が誰か不明の場合は次に照会して下さい。

大砂土東地区社会福祉協議会事務所

電話 〇四八―六八七―七九三五

これが当地区の社会福祉協議会で進めている「見守りネットワーク」です。

更に地区内の各自治会にお願いして、「見守りネットワーク」を積極的に推進して頂くための「見守り員」を置くことをお願いしていますが、既に見守り員が百余名設けられ見守り活動を進めております。手と手がつながった暖かい街づくりには皆様のご協力をお願いいたします。

大砂土東地区社会福祉協議会

会長 榎本 房雄



認知症の原因となる病気には多くのものがありますが
特に多いのが脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症です

認知症の基礎知識

(インターネットより引用)

脳血管性認知症

脳梗塞 (脳の血管に血栓という血の固まりが
つまった状態)

脳出血 (脳の血管が破れて出血した状態)

※脳の血管に異常が起きた結果認知症になる

アルツハイマー型認知症

脳の細胞が変性 (性状、性質が変わる)

したり消失した場合

※脳の細胞が縮んで認知症になる

初期にはある	← 認知症の自覚 →	ないことが多い
良くなったり悪くなったり しながら階段状に進む	← 進み方 →	ゆっくり単調に進む
手足が部分的に麻痺したり、 しびれたりすることが多い	← 神経症状の有無 →	初期には少ない
高血圧、糖尿病などの持病を持つことが多い	← 身体の持病との関係 →	持病との関係は少ない
ささいなことで泣いたり怒ったりなど 精神的に不安定になることが多い	← 特徴的傾向 →	落ちつきがなかったり、深刻味がないことが多い
まだら認知症 (部分的に能力が低下している)	← 認知症の性質 →	全般性認知症 (全般的に能力が低下している)
ある程度保たれる	← 人柄 →	変わることが多い

※脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症の診断には専門的な診察と検査が必要です……

講座

災害時高齢者支援

近年災害が多い事から2月22日島町自治会館にて講習会が開催されました。

災害が人に及ぼす影響は様々です。特に高齢者の場合病気や症状などにより避難所生活での大変さを学びました。

支援技術ではグループ別に分かれ、タオルケットや毛布を使いガウンを、又風呂敷でリュックサックを、更にダンボール箱での足湯作りを教えていただきました。

知って役立つ技術として、自分で床から起き上げられる方法を体験しました。今回参加者全員に受講証が渡されました。



介護技術の基礎

日常生活における介護について、昨年の11月11日に大砂土東公民館で25日には東大宮コミセンにおいて実施されました。

介護は知識や技術を身につけることは大切ですが、相手との人間関係や自立をめざした介護が一番大切であることを学びました。又技術指導も実際に行なわれました。

二人一組による実技体験は、介護する側とされる側の意思が伝わらず、困難であることが解りました。



誕生

LDひまわりクラブ

平成23年7月よりライオンズガーデン東大宮アスレチックルームにてスタート。

毎月第4木曜日午前9時30分から、自治会長の隔山さんを中心にボランティア・地域包括支援センター大和田・民生委員が加わり開催。

詩の朗読やオカリナ演奏での歌、ホールまわしゲームの後全員での雑談。

参加者の方から「普段なかなか近所の方とお話する機会がないので、皆様の声が聞けたり、声を出してワハハ・ワハハと笑えるこの場が楽しみです。」と皆さんいきいきとされています。

5丁目生き生きサロン

(東大宮5丁目)

- ・毎月 第1火曜日
- ・午前 10時～12時
- ・会費 100円
- ・会員の親睦と教養を深め、地域社会に貢献することを目的。おしゃべりや仲間作り、趣味の講座などを行います。

ご協力ありがとうございました

平成23年度の募金・寄付金は下記のとおりです。

- ・社会福祉協議会賛助会 (個人会員含む) 1,177,430円
- ・赤い羽根共同募金 3,303,318円
- ・歳末たすけあい募金 1,050,515円
- ・島町もちつき大会 59,200円

編集後記

2万人強の犠牲者がかた東日本大震災から一年たちました。また、震災と福島原発の事故で35万人の方が今でも避難生活をあかておられるとのことです。このような大災害のあとで避難生活されている高齢者の孤独死が心配されますが隣近所の皆さんで未然に防いでゆく協力体制が必要と思われます。

当地区社協では高齢者の見守りネットワーク体制作り地元各自治会・民生委員と協力して積極的に取り組んでおりますので、何かありましたらご相談ください。

